

小学校第6学年道徳の時間学習指導案

日時 平成24年 月 日 ()

指導者 6年担任 教諭 河野 圭一

- 1 主題名 相手の立場に立って 2－(2) 思いやり・親切
資料名 「今、君の瞳はかがやいているか」 (熊本の心)

2 主題について

(1) ねらいについて

思いやりとは、他人の喜び、悲しみ、痛み、立場などを推察し、その気持ちが理解できるということであり、単なる憐れみや相手にやさしく接することだけを指すのではない。相手の状況をつかみとり、共感し、一体となって考えようとする気持ちを育てることが、思いやりの第一歩である。この思いやりに根ざした実践や行為が、他者に対する親切である。

しかし、実際の生活場面において、相互の心の交流や共感に支えられた人間関係が育っていない場合、親切のつもりでしたことがおせっかいになってしまったり、思いやりの行為が逆に、迷惑と感じられてしまったりすることも見受けられる。思いやりが思いやりとして、また、親切が親切として成立するためには、その感情や行為が相手に受容され、感謝されなければならない。そのためには、どのように対処することが相手のためになるのかをよく考えた温かい人間愛に満ちた言動が求められる。

この時期の児童は、徐々に相手の立場に立って物事を考え、相手の気持ちを理解できるようになる。そこで、この段階においては、どのように対処することが相手のためになるのかをよく考えた言動が大切であり、児童が接するすべての人に対して、そのような言動ができるように指導していくことが必要である。

(2) 児童の実態について

※ 省略

(3) 資料について

谷口巳三郎は、新興国の農業技術指導、特に農村青年教育に後半生を捧げたいとの思いから、熊本県立農業大学校教官を退職後、単身タイに渡り、青少年教育の他、地域開発アドバイザーとして活躍している人である。さらに農業技術指導のみならず、現地の農業高校生の受け入れ、エイズ患者とその家族支援、地球環境破壊防止の植林等さまざまな活動に取り組んでいる。

巳三郎の考えや行動は、何事も自分本位で決めてしまいがちな今日の子どもたちの心を大きく揺り動かすものであろう。その感動を大切にしながら、タイの人々の幸せのために生涯を捧げようとしている巳三郎の心情をとらえることにより、相手を思いやる心や親切な行為が、どれほどタイの人々を支える力になっているか気付かせたい。また、巳三郎のように、人のために働き感謝されたり、人から親切にされてうれしかったりした経験を共有し、普段の生活につなげていくことのできる資料である。

(4) 指導にあたって

- 導入では、困っている人に、どんな気持ちでどのように行動していたかを発表させ、価値への方向付けをする。また、デンマークやタイの地理的位置を示すようにする。
- 展開では、巳三郎の行動が自分の損得を考えた行動ではなく、タイの人々が何を望んでいるのか、タイの人々に、今どんなことが必要なのかという相手の立場を考えた行動であったことに気付かせる。
- 終末では、ボランティア活動等で喜んでもらった経験や思いがけない人から親切にされた時の喜びの経験等を出し合い、損得抜きで相手の立場に立って考えることの大切さを感じ取らせる。そして、お礼の手紙などを紹介し、思いを深めることができるようにする。

ICT活用のポイント

・教育用郷土資料「熊本の心」今回の授業では、道徳教育用郷土資料「熊本の心」に付属されている「読み物資料」や「教師用指導資料」、「ワークシート」を活用する。

- ①挿絵は印刷して、板書に活用する。
- ②児童が資料の内容を理解しやすいように、巳三郎や活動の写真等は電子黒板を使って拡大提示する。
- ③児童がお互いの意見をよりよく共有するために、ワークシートを実物投影機で拡大提示する。
- ④資料を読む場合は、DVDの朗読再生を活用する。
- ⑤終末の部分では、元サッカー日本代表中沢佑二氏のWebページを紹介し、誰かのために損得抜きで活動している人が他にもいることを知らせ、日常の実践につながるようにする。

<http://www.bomber22.com/support/support.html>

3 本時の展開

(1) 目標 だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って温かく接しようとする心情や態度を養う。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT活用
導入 10分	1 困っている人に出会った時の経験を発表する。 (T)困っている人に出会ったとき、どうしましたか？ (C)大丈夫かな・・・。	・困っている人に、どんな気持ちでどのように行動していたか接していたかを発表し価値への方向付けをする。	電子黒板 読み物資料 巳三郎の写真等

<p>展開 25分</p>	<p>2 資料「今、君の瞳は輝いているか」を読んで話し合う。</p> <p>(1) DVDの朗読を聞きながら資料を読む。</p> <p>(2) 谷口巳三郎について知る。</p> <p>(3) 巳三郎の行動について考える。</p> <p>(T) 21世紀農場での取組は、巳三郎のどんな気持ちから生まれたものでしょう。</p> <p>(C) みんなで助け合いながら、自然を大切にしたい農法を行う青年を育てたい。</p> <p>(C) 自分のできることは何でも一生懸命にやろう。</p> <p>(4) 考えを班で出し合う。</p> <p>(5) 全体で話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読む際は、DVDの朗読資料を活用する。 挿絵などを使い、巳三郎の生い立ちを確認する。 自分の損得を考えた行動ではなく、タイの人々や地球全体の問題を思いやりの行動であることに気付かせる。 相手の立場を考えた親切とは、親切な行動を行うだけでなく、相手が何を望んでいるか、また相手にとってどんなことが大切かまで考えて行動することであることに気付かせる。 意見を発表するときは、実物投影機で拡大提示する。 	<p>電子黒板 DVDの朗読再生</p> <p>実物投影機</p>
<p>終末 10分</p>	<p>3 自分のこれまでの経験を振り返る。</p> <p>(T) 今までに、人に親切にして喜ばれたり思いがけない人に親切にされていい持ちになったりしたことはありませんか。</p> <p>4 教師の説話を聞く。</p> <p>(T) 東北大震災でボランティアに行った人に届いたお礼の手紙や運動会の招待状へのお返事を読んでみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの経験などを出し合い損得抜きで相手の立場に立って考えることの大切さを感じ取らせる。 お礼の手紙等を紹介し、実践に向けた態度に結び付ける。 <p>評価：相手の立場に立って、思いやりの心を持ち、親切な行為を行うことの大切さを深めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> Webページを活用し、様々な人が損得抜きで、人に役立つことをしていることを紹介する。 	<p>運動会の招待状の返事</p>